

(3) 東京消防庁に関するご意見やご提案

東京消防庁に関するご意見やご提案を任意に記入していただいたところ、多数のご意見が寄せられたので、以下のカテゴリーに分類した。

- 「日頃の活動についての感謝や励ましについて」
- 「広報活動・情報提供などについて」
- 「調査に協力して初めて気づいたこと、改めて感じたこと」
- 「救急車の利用について」
- 「その他の要望など」
- 「調査内容、方法に関する意見」
- 「その他」

■日頃の活動についての感謝や励ましについて

- ・ 救命、危険との闘い等、日頃の活動に心からいつも感謝しております。(70 歳以上 男性)
- ・ 皆様、ケガなどされない様に。(50 代 女性)
- ・ 救急車を 3～4 回ほどお願いした事があります。いつもていねいに手早く気持ちよく病院までつれていってくださり、心より感謝しています。(70 歳以上 女性)
- ・ 現在のところ意見など考えつきませんが、常日頃、消防の方々には頭の下がる思いです。本当にお疲れ様です。(70 歳以上 女性)
- ・ 普段あまり意識していませんが、ありがとうございます。(30 代 男性)
- ・ いつも大変なお仕事をさせていただき、有難うございます。(60 代 男性)
- ・ 不断の努力をしてくださっていることと思い、感謝しております。(50 代 女性)
- ・ 大変親切にさせていただき、感謝申し上げます。(70 歳以上 女性)
- ・ 頼りにしてます。頑張ってください。(30 代 女性)
- ・ いつもご苦労様です。安心して生活のできる東京都でいたいです。(60 代 女性)
- ・ とても大変なお仕事と思います。いつもありがとうございます。(50 代 男性)
- ・ 人々を守るために働いてくださり、ありがとうございます。(60 代 女性)
- ・ 特にありませんが、コロナ禍で大変な中での業務遂行に感謝致しております。(70 歳以上 男性)
- ・ いつも使命感を持った対応に感謝と共に安心をいただいています。救急車が来る前（早く来られないため）に消防車が先に来てびっくりしましたが、とても安心できました。ありがとうございます。大変なお仕事ですが、皆信頼しております。お身体大切に頑張ってください。(50 代 女性)
- ・ 日ごろの活動に感謝しております。これからも都民のための活動を期待しています。(60 代 女性)
- ・ ごくろうさまです。これからもよろしく願います。(70 歳以上 男性)
- ・ コロナで大変な毎日ですが、十分気を付けて都民のために頑張ってください。よろしく願います。いつもありがとうございます。(50 代 男性)
- ・ 全て命にかかわるお仕事であるので、本当に感謝しております。コロナの事もありますから、体調に気を付けてください。(20 代 女性)
- ・ 高齢者と住んでいるので、救急車へのお世話になっております。2 年前、母が救急隊員の早急

- な対応で命が救われました。本当に感謝しております。(60代 男性)
- ・ 江戸時代より続く「火消」、諸外国のファイヤーファイターなど、命を懸けた活躍には、いつも感心させられます。(40代 男性)
 - ・ 消防団員の方全てに感謝しております。すごいチームワークで、一生懸命の事がいつも感動しています。感謝しかありません。(70歳以上 男性)
 - ・ 今まで、1~2回救急車に来ていただいたことがあります。迅速な対応をしていただき、感謝しています。今後、できるだけ消防車にも救急車にも来ていただかなくてもよいように、安全に努めます。いつも本当にありがとうございます。(60代 女性)
 - ・ 駒八通りに面しており、消防車、救急車の音を聞きます。しかも、朝早く、また夜間ですので、大変なお仕事だと思います。また、感謝しております。(70歳以上 女性)
 - ・ いつもがんばってくださいまして、助かっています。ありがとうございます。コロナで大変でしょうけど、身体に気を付けてお仕事してくださいね。(60代 男性)
 - ・ いつもご苦労様です。今後もよろしく。(70歳以上 男性)
 - ・ いつも暮らしを守ってください、ありがとうございます。感謝しかありません。体を大切に、がんばってください。(40代 男性)
 - ・ 救急隊の方にはプライベートでも仕事でもお世話になったことが何度かあります。いずれも安心できる対応でした。大変なお仕事だと思いますが、大事な仕事だと思います。(40代 女性)
 - ・ 日々の活動、御苦労様です。いざという時に役立っていると思います。(50代 男性)
 - ・ 救急車で家族、自分自身もお世話になりました。すぐ対応していただき、命をとりとめ、今の状態まで回復し、仕事をしております。コロナ禍で大変ですが、おかげで命が助かった人が大勢いますので、今後も頑張ってください。(50代 男性)
 - ・ いつも私達都民の為に、日頃からの訓練や救急出動、消防と、お疲れ様です。皆様の努力には頭がさがるばかりです。今年はコロナウィルスのこともあり、心労も増すばかりかと思っておりますが、お体には気をつけてお仕事がんばってください。いつもありがとうございます。(30代 女性)
 - ・ いつも都民のため、活躍して頂きまして、本当にありがとうございます。(60代 女性)
 - ・ いつもご苦労様です。問題はありません(70歳以上 女性)
 - ・ いつもお疲れ様です。ご飯食べて、寝れるときに寝てください(20代 女性)
 - ・ 大変なお仕事だと思います。頑張ってください(50代 女性)
 - ・ 10年ほど前、今は無き父を自宅介護していました。風呂に入って長い間出てこないため見に行くと、腰まで湯が下がってなんとしても立てない父がいました。私一人の力(当時まだ手術は受けていませんでした)では、なんとしても起き上がらせないため、救急車を呼ぶと、隊員3名がいらして下さり助けてくださいました。本当にありがたかったです。冷え切った父の身体を毛布でくるみホットカーペットに横たえましたが、意識もしっかりしていましたので病院に運ぶことなく、じきに回復してくれました。今でも心から感謝しております。ありがとうございました。(60代 女性)
 - ・ 救急活動等、大変お疲れ様です(50代 男性)
 - ・ 危険な職務を日夜遂行されて頂いてることに感謝です。災害出動のない、少ない日常を目指すのは、あくまで私達国民(都民)である事を自覚して、転倒防止など、真面目に取り組んで参ります。(60代 女性)
 - ・ 日々、昼夜を問わず任務遂行につくされている消防総監はじめ東京都消防庁の方々に心より感

- 謝しております。日頃、非常時に対処するために特別な教育、訓練をされ、現場に行かれ、任務完遂されている事に対し、頭の下がる思いでいっぱいです。現場の個人一人一人が命を大事にされ、任務に専心される事、心より祈念申し上げます。出勤される回数が減少されればと強く思っています。また、命あっての任務遂行=完遂です。(70歳以上 男性)
- ・ 怖い火の中に飛び込んで消火してくれる事に感謝します。ありがとうございます。(60代 女性)
 - ・ 日夜、気を抜く事なく私たちを見守ってくださっていること、心より感謝しております。どうぞお怪我のないよう、お勤めください。(60代 女性)
 - ・ いつもどうもありがとうございます。心より感謝申し上げます。(40代 女性)
 - ・ いつもお仕事をご苦労様です。ありがとうございます。(50代 女性)
 - ・ 日頃から命を懸けて都民の命を守っていただき、ありがとうございます。(50代 女性)
 - ・ 家のすぐそばに消防署があるため、心理的に安心です。父母が生死にかかわる状態の時、すぐ来ていただき、大変助かりました。また、救急車を呼ぶか迷った時、相談できるところがあるのも心強いです。お世話になる事がないよう、日々気を付けて暮らす努力も必要かと思えます。(60代 女性)
 - ・ 常に激務をお察しします。大変感謝しております。(60代 男性)
 - ・ 日頃から東京の安全を守っていただきありがとうございます。(20代 男性)
 - ・ 日頃より活動に感謝しております。ありがとうございます。(50代 女性)
 - ・ いつも我々の安全を見守っていただき、ありがとうございます。感謝してます。これからもコロナに気を付けて頑張ってください。(70歳以上 男性)
 - ・ 大変なお仕事ですが、安心な生活ができるよう、頑張ってください。(70歳以上 女性)
 - ・ いろいろお世話になりました。一時期すごく救急隊員さんに名前を覚えられるほどでしたが、今は治療のおかげで少し元気になってきました。毎日が今、少し楽しくなってきました。ありがとうございます。(50代 女性)
 - ・ 毎日ありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。(50代 女性)
 - ・ 毎日、都民のために頑張ってください、ありがとうございます。心から感謝しております。(50代 女性)
 - ・ 日頃の消防活動には敬意を表します。(70歳以上 男性)
 - ・ 我々市民が安心して暮らせるのは消防署の活動のおかげと心より感謝しています。(70歳以上 男性)
 - ・ いつもご苦労様です。お取組、本当に感謝しています。(40代 男性)
 - ・ 消防関係のお仕事をされている皆様、毎日大変なお仕事、御苦労様です。これからいつそう厳しい季節になりますので、身体には充分気を付けてください。(70歳以上 男性)
 - ・ 毎日厳しい訓練を行って、規則にのっとって仕事をされている様子を見ても、非常に頼もしく思っています。世間有数の過密都市ゆえの苦労も多いとは思いますが、これからも頑張ってください。(50代 男性)
 - ・ 日ごろから様々な業務に感謝しています。(50代 女性)
 - ・ 救命講習受講の際にはお世話になりました。日頃より高齢者と接することの多い仕事なので役立ちました。(50代 男性)
 - ・ コロナ禍での救急業務本当に大変ですが、くれぐれもお体を大切にしてください。(60代 男性)
 - ・ 危険が伴うお仕事ですが、これからも都民のためにご尽力他、よろしくお願いいたします。(60代 男性)

代 女性)

- ・ 町会の定期防災訓練などの際に実演・講習していただきお世話になっています。近年特に大雨や洪水などの自然災害が頻発しているので、ますます消防署の方々の力が必要となっています。敬意をもってこれからも期待します。(70 歳以上 男性)
- ・ 過去、救急車に両親がお世話になり、すぐ手当とか病院への搬送とかで大変お世話になりました。その時は天使のように思われ、今でもあの時のことは忘れられません。これからも皆様の活動・活躍をお祈りいたします。(60 代 女性)
- ・ コロナ禍の中ご苦勞様です。地域の安全の為に働いていただいております。(60 代 女性)
- ・ 特にありません。日々の業務、ご苦勞様です。(60 代 男性)
- ・ 緊張を強いられる職業だと思います。私たちも守っていただきたいですが、そのためには、ご自分の身体も気をつけてご活躍願います。(70 歳以上 女性)
- ・ コロナ禍の中、日々都民のために活動してくださり、本当にありがとうございます。子どもが乳児だった時、(他県在住の) 老齡の両親が病気になる時、救急車のお蔭で救われ、感謝しております。(60 代 女性)
- ・ 以前、息子(ケガ)、娘(けいれん)とも救急車で病院へ、という体験をしました。とっさの事でパニック状態の私に対して優しく対応してくださった事、とても感謝しております。隊員とのコミュニケーション、チームワークがきちんとしていて、常日頃から訓練されていると思いました。(40 代 女性)
- ・ 近所で火災があった時は、安全の為に誘導をしていただき、ありがとうございました。消防団に在籍されている方にも感謝しております。(50 代 女性)
- ・ 石神井消防署の横を通りかかる時、よく高い所でいろいろな訓練をなさっているのを目にします。いつも感心して、そのような努力をなさっていることに、尊敬と感謝の念を覚えます。早朝から真夜中まで、都民のために働いてくださり、有難うございます。(60 代 女性)
- ・ これからも足立区の住民の為に苦勞だとは思いますが、よろしく願い致します。(70 歳以上 女性)
- ・ お体に気を付けて、お仕事頑張ってください。(30 代 女性)
- ・ 日頃のご活動に感謝しています。コロナ禍の中、いろいろ大変だと思いますが、今後ともよろしく願います。(70 歳以上 男性)
- ・ コロナ禍の中、大変なお仕事、毎日ご苦勞様です。これからも国民を守るため、頑張ってください。(70 歳以上 男性)
- ・ いつもありがとうございます。命を大切にしてください。(60 代 男性)
- ・ 日々の安全を守ってくださり、ありがとうございます。(20 代 女性)
- ・ 安心した日常を過ごせるのは、非常時に皆さんがおられるということがあってこそだと、諸講習を受けた時などに思っております。いつもありがとうございます。(40 代 男性)
- ・ いつも大変な仕事をこなして、地域の生活者を助けて下さってありがとうございます。コロナで大変なことも増えたと思いますが、これからもがんばっていただけたら…。アンケートで逆にお仕事が増えないよう祈っています。(20 代 女性)
- ・ 皆様のおかげで安心して生活できます。ありがとうございます。(40 代 男性)
- ・ 日頃の皆様のお働きに心より感謝申し上げます。24 時間に渡って消防車のサイレン、救急車のピーポーの音を聞くと、安心すると共に、大変なお仕事なんだなーと、“頑張ってください”と心から思います。(70 歳以上 女性)

- ・ いつも有難うございます。地域とのかかわりが薄い社会です。コロナ禍で色々大変ですが、引き続き宜しくお願い致します。(50代 女性)
- ・ 家族が救急隊員の方に何度かお世話になっています。いつでも落ち着いて的確な対応に安心してお願いできました。幸い病院を見つけていただく時間も早く、助かりました。ありがとうございました。コロナ禍ですし、大変なお仕事と思いますが、今後とも宜しくお願いします。(50代 女性)
- ・ 消防団員の方には、私なりに非常に感謝しています。いつもありがとうございます。私でも出来る事があれば、お手伝いしたいです。(70歳以上 男性)
- ・ 何度か救急車で運ばれたことがあります。毎回親切にさせていただいて、感謝しています。(30代 女性)
- ・ 命にかかわる仕事にたずさわっていただいて、本当にありがとうございます。(50代 女性)
- ・ 消防庁の取組みは信頼しています。災害や事故等で危険のある救出や消火活動など、真摯な取組みは素晴らしいと思います。頑張ってください。(60代 女性)
- ・ 困った人を助ける大事で大変な仕事だと思います。学校で教わったので知ってはいますが、日々の暮らしにはほとんど関わりがないので、忘れてしまいます。(50代 女性)
- ・ 訓練されている姿を消防署で見かけたことが何度もあります。地域のためにありがとうございます。コロナ禍の中、難しいこともあると思いますが、お身体ご自愛いただきたいと思います。(50代 女性)
- ・ 救命講習でいつもお世話になっています。救急隊の出動が少しでも減少するように、これからも普及活動よろしくをお願いします。(30代 男性)
- ・ いつも都民の命を第一に行動頂き、感謝しています。日頃の訓練など、お疲れさまです。頼りにしています。(50代 男性)
- ・ いつも消防車の音や救急車の音を聞くたび、街を守ったり人を救ったりする方々はすごいなと、感謝しています。今後も大変なお仕事とは思いますが、がんばってください。(40代 女性)
- ・ 皆様ありがとうございます。心強い存在です。(70歳以上 女性)
- ・ 日々ご尽力いただき感謝しています。なるべくお世話にならずに済むよう心がけてはいます。人手不足の昨今ですが、お仕事とはいえ、おケガのないよう祈っております。(50代 女性)
- ・ 24時間国民都民区民のために御苦労様です。これからもよろしくお願い致します。(70歳以上 男性)
- ・ 御世話になっております。これからもよろしくお願い申し上げます。(70歳以上 男性)
- ・ 家族が大腿骨を骨折した際、深夜だったにも関わらず、迅速かつ親身にご対応くださいました。大変心強く、自身も冷静に対応することが出来ました。本当にありがとうございました。心より感謝しております。(40代 女性)
- ・ 救急車の出動回数が多く、毎回大変だと思いますが、今後とも頑張ってください(元公務員)。(70歳以上 男性)
- ・ 全体に消防庁に対する意見は特に有りません。自治会の時代によく消防の勉強させて頂きました。特に良かったと思ったのは、隊員の皆さんの言葉使いがとても良かったこと。今後とも頑張ってください。(70歳以上 男性)
- ・ 命を預かる仕事、危険を伴う仕事です。頼りにしています。がんばってください。皆様のお陰で安心して暮らせます。(50代 女性)
- ・ いつも私達都民の安全の為、尽力を尽くしてくださり、ありがとうございます。これからも宜

しくお願い致します。(50代 女性)

- ・サイレンが鳴った時には、皆様が対応をいただけることに感謝の意を感じます。今後とも頑張ってください。(60代 男性)
- ・コロナ禍の中で、救急面での活躍に、本当に頭がさがる思いです。消防庁で働く皆様の健康が心配です。私達家族も一人一人が注意して日常生活を送るよう心がけてまいります。この緊急時が早く収まりますように。そしてそれまでは消防庁の皆様のお力をお借りしなくてはならないと思います。いましばらく、ともに頑張りましょう。(60代 女性)
- ・大変なお仕事かと思いますが、いつもありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。(20代 女性)
- ・お働きに感謝しています。(50代 女性)
- ・息子が地方、山口で消防士をしています。なので、消防のお仕事が大変なのは、よく知っております(私も看護師なので)。これからも、都民のために、頑張ってください。(50代 女性)
- ・子供が小学生の頃に、消防の訓練に参加させていただき、その時に、消火器の使い方を教えていただきました。あの時、参加していなかったら、いまだに使用方法はわからなかったと思います。本当に、ありがとうございました。(60代 女性)
- ・東京消防庁と警視庁は、都民の生活を守るための重要な組織と思っています。これからも防災のため、頑張ってください。(60代 女性)
- ・いつも本当ご苦労様です。ありがとうございます。くれぐれもお体ご留意下さい。(70歳以上 女性)
- ・いつもありがとうございます。(50代 女性)
- ・消防署の方々が出動されるという事態は、多くの場合、それを必要とする市民のみならず、署員の方におかれましても、大変生命の安全の危うい場面だと思えます。火災などで消火活動中に残念なことにお亡くなりになる署員の方の報道を見ると、胸が痛みます。どうか、全国の消防の皆様の身が、安全であります様、署員の方のご家族が悲しまれることのない様、願っております。いつも、本当にありがとうございます。(60代 女性)
- ・御苦労様です。感謝しています。(70歳以上 男性)
- ・消防庁の方々には、感謝致しております。ますますのご活躍をお願い申し上げます。(70歳以上 女性)
- ・過去、一度救急車のお世話になりました。大変親切に対応していただき、本当に心強く、ありがたく思いました。(60代 女性)
- ・近くに消防署があります。いつも活躍、都民を守ってくださる姿を見て、感謝の気持で一杯です。有難うございます(家族全員より)。(20代 男性)
- ・いつも安全な暮らしを守って頂き、ありがとうございます。東京消防庁の皆様も、お体十分にご自愛ください。(40代 女性)
- ・公務といえど危険な業務、お身体に気を付けてください。人の命を守るお仕事に感謝しております。(60代 男性)
- ・数年前になりますが、主人が病気で救急車を呼んだ事がありますが、適切な処置で病院に運んで頂き、ありがたく思っております。(60代 女性)
- ・火災現場で焼死者が出た時の署員のご苦労を思う時、亡くなった人への同情よりもっと悲痛な思いです。本当に手を合わせたい気持です。就寝前の火の元の点検、外出する時にはもう一度靴を脱いで、全てを点検してから出かけます。消防庁には感謝しかありません。ありがとうございます。(70歳以上 女性)

- ・ 救急車をお願いしましたが、迅速な行動で助かりました。(70歳以上 女性)
- ・ 消防庁があるから、安心して過ごすことができます。(70歳以上 女性)
- ・ すごく大変な仕事だと思います。ただなくてはならない大変なお仕事なので、がんばっていただきたいのと、お給料も高くしてあげてほしいです(低いイメージがあります)。これからもがんばってください。(40代 女性)
- ・ 日頃の活動に感謝しています。(70歳以上 男性)
- ・ 日々、感謝しております。ありがとうございます。(40代 女性)
- ・ 消防、救急、国民のために働いていただいている事、感謝しています。大変な業務、隊員の方々のお身体も大切に。(60代 女性)
- ・ 救急車の方の親切丁寧な対応に、心から感謝しています。自分自身、年老いた親、小さな子供にも、何度かお世話になっていますが、本当に感謝の一言です。ありがとうございます。特に牛込消防署の方々にも、この場をお借りしてお礼を言いたいです。ありがとうございます。(60代 女性)
- ・ 心強く、存じています。(70歳以上 女性)
- ・ コロナで大変ですけど、がんばりましょう。(50代 男性)
- ・ 消防関係のみなさまの仕事が、トレーニングと点検だけで終わるよう、願っております。(50代 男性)
- ・ 真夏の暑い中、決められた服を着て直ぐに駆けつけ、活動をさせていらっしゃるのを見ますと、本当に大変なお仕事だと感謝しています。(70歳以上 女性)
- ・ 大切な御仕事です。頑張って、皆様の役に立って下さい。(70歳以上 男性)
- ・ 消防庁があることで、都民が安心して生活できることで、いつも感謝しています。(60代 女性)
- ・ 日々、皆様の活動に感謝しております。これからも宜しく願いいたします。(50代 男性)
- ・ 火災では、とても危険なお仕事だと感じています。この1年、コロナで救急の面でも、とても大変だったと思います。これからも、暮らしの中で大切なお仕事ですので、がんばっていただきたいと思います。(50代 女性)
- ・ 消防庁のみなさまには、ただただ感謝です。無理のない勤務体制で、お願いいたします。(50代 女性)
- ・ 日頃より、感謝いたしております。防火防災の意識を高めるよう、努力してまいります。(60代 女性)
- ・ 提案はありませんが、いつもありがとうございます。(70歳以上 女性)
- ・ いつも都民・住民に関して良く種々教示してくださり、有りがたいです。御苦労様です。(70歳以上 男性)
- ・ いつも安全のためにご尽力いただき、ありがとうございます。なるべくお世話にならずに済むよう、自分なりに火の始末、健康に気をつけようと思います。(40代 女性)
- ・ 火災・災害、および救急業務で、私達都民を守り、救っていただき、誠にありがとうございます。(60代 男性)
- ・ 常日頃、人々のために頑張ってください、有難うございます。これからもよろしく願いいたします。(20代 女性)
- ・ 1歳の息子が消防車と救急車が大好きで、見るたびに応援しています。実際に会って活躍されている姿を見せたいです。(30代 男性)
- ・ 都民の生命・身体・財産を守るため、これからも消防活動をよろしく願います。(30代

女性)

- 毎日緊張の仕事、ご苦労様です。コロナ禍で大変ですが、皆様お体にお気を付けてくださいますように。(70歳以上 女性)
- 御庁より一層の活躍お祈りいたします。ご苦労様です。(70歳以上 女性)
- 近くの多摩消防署、新築の外壁のグリーンの葉っぱの壁、枯れててかわいそうなんです。オシャレなのに汚くみえる。新築なので、コロナが収まったら見学に行きたいです。出勤の音を耳にすると、カンカン鳴らしているかを聞きます。カンカンは聞こえないので、なかなか火事は少ないようで、だれかの救出で出勤なのかと、回数多く、大変だなと思っています。私たちを日々助けて頂き、ありがとうございます。(50代 女性)
- 日頃のご活動に感謝いたします。(70歳以上 女性)
- 日頃からの訓練、ご苦労様です。私の友人で消防士の方がいるが、体力がないと、続けられないとのこと。(70歳以上 男性)
- いつも都民の為にありがとうございます。家族が救急車で運ばれた時の対応が、ありがたかったです。(60代 男性)
- 都民の安全のために、ありがとうございます。(50代 女性)
- 期待しています。(60代 男性)
- いつも日頃から安心・安心に暮らせるよう取り組んでいただき、ありがとうございます。父も定年まで消防団員をしていたため、大変さ、辛さも、少しばかり聞いておりました。これからも地域の安全のため、救急・消防面、よろしくお願いします。職場でいつも消防関係は子どもたちからのヒーローであり、憧れです。(20代 女性)
- 普段、意識していない時も、常にそこにあり、準備をしてくださるおかげで、私達は安心して生活ができています。いつもありがとうございます。(50代 女性)
- 毎日危険な仕事、有難うございます。お体気付けてください。(70歳以上 男性)
- 以前、子供が高熱で意識を失った時、迷いながらも救急車を呼びました。結果、けいれんでもなく、重症でもなかったんですが、不安でパニックになっている私に、荷物持ちましょうか？(子供を抱っこしていたため)とか、車内でも「大丈夫ですよ、お子さん高熱で心配ですよね」等、とても優しく対応してくれて、本当に安心しました。今コロナで大変だと思いますが、頑張ってください。地域みんなの気持ちによりそっていただけて、感謝しています。(30代 女性)
- これからも国民の皆様のために頑張ってください。いつもごくろうさまです。(30代 男性)
- これから真冬に向かっていきますので、皆様、消防に関わる方々の活動を応援いたします。(60代 女性)
- 都民の安全をお守りいただき、ありがとうございます。(70歳以上 女性)
- 救急車の皆さんに、骨折し、動けないので、1度お世話になりました。コロナの騒ぎで大変な毎日でしょう。そしてありがとうございます。御苦労様です。(70歳以上 男性)
- 日頃の消火活動、救急活動等、本当にご苦労様です。危険を伴うお仕事ですが、頑張ってください。(40代 女性)
- この頃は救急車のサイレンがよく聞かれます。コロナのせいもあると思います。いつも危険なお仕事で、本当に大変だと思います。心から感謝申し上げます。(70歳以上 女性)
- 近くの消防署で日々訓練をされている姿を見ていて、頭が下がる思いです。ありがとうございます。(60代 女性)
- 大変ですが、頑張ってください。国民が願ってます。(50代 男性)

- みな様の献身的な仕事ぶりに、いつも心から感謝しています。救助～救命にいたるまで対応する、すばらしい仕事だと思っています。ただ、ただ、感謝のかぎりです。ありがとうございます。(50代 女性)
- 何かが起きた時に活躍いただける「縁の下の力持ち」的存在と理解しております。「何かが起きた時」にさすが消防と言われる様に日々研鑽を積んで運用頂ければ幸いです。(60代 男性)
- 今年のコロナ禍の下、救急搬送など、例年になく規模の出動回数であったかと思えます。昼夜を問わず、市民の安全のために活動されている皆様に、心より感謝申し上げます。消防署の皆様の健康と安全を祈念しております。(60代 男性)
- 大変親切にして頂きました。ありがとうございました。(60代 男性)
- これからも困っている人たちのために、がんばってください。(20代 男性)
- 救急車の人々は、本当に親切で頭が下がります。病院はコロナの前でしたが、個人で電話しても受け入れてくれず、救急車の方が探してもなかなか見つからず、大変でした。(50代 女性)
- 私は障害手帳（内部）を持っており、救急車を呼んだ事があります。隊員の方に、素晴らしい対応を受けています。心より感謝いたしております。(70歳以上 男性)
- いつもありがとうございます。これからも安全対策など（←特に台風などで河川の氾濫など心配してます）力を入れていただきたいです。よろしくお願いします。(30代 女性)
- 特に有りません。今後も地域の為、頑張ってください。(60代 女性)
- 現場に出動する隊員に対しての補償をもっと補強してやってほしい。(60代 男性)
- 困っている時に、親身に対応していただき、心から感謝しております。(50代 男性)
- もっと待遇良くしてもらって下さい。いつも感謝しております。がんばってください。(30代 女性)
- 今まであまり活動には参加してきていませんが、いつもご尽力下さり、感謝してます。(30代 女性)
- 前の職場に通勤する際、消防署の前を通っていました。毎朝、車両のチェックなどをされており、有事への備えに頭が下がる思いでした。何か起こった際（本当は何もないのが良いのですが）の砦として、これからもよろしく願いいたします。(40代 男性)
- 大変なお仕事ご苦労様です 感謝しております。(50代 男性)
- 不定期な仕事ですが、気を引き締めて、頑張ってください。(50代 男性)
- いつも国民の為にお仕事して下さいありがとうございます。コロナ対応等でお忙しいとは思いますがお身体を大事にお気をつけください。(20代 男性)
- 去年の3月2度に渡って救急車のお世話になりました。脳髄炎でわけ分からなくなってるのを辛抱強く対応していただきました。有難うございます。元気になれたのも救急隊員の方々のおかげです。(20代 女性)
- 近くにも出張所がありますが、体を鍛えている姿を見て頼もしく思っています。(60代 男性)
- いつもいつもご苦労様です。活動に感謝申し上げます。(70歳以上 男性)
- いつもありがとうございます。先に回答の通り、先日、夜間に息子が怪我をし、#7119で救急病院を探しましたが、受け入れ先が見つからず、救急車を呼んでしまいました。大変心苦しく思っております。それにもかかわらず、救急隊員の皆さまには大変ご親切に対応くださった上に、救急車を呼んで致し方なかったことを快くご理解くださり、感謝の気持ちでいっぱい

おります。コロナ禍で身の危険も伴うなか出勤くださり、救急隊員のみなさまには本当に頭の下がる思いでおります。このご時世でも、救急車を利用しなくとも、安心して夜間救急を受け入れてくださる病院が増えることを願っております。(40代 女性)

- ・ いつも都民のために働いていただきありがとうございます。(40代 女性)
- ・ いつも、ご苦労様です♪市民の為にこれからもよろしくお願い申し上げます。(50代 男性)
- ・ いつも、ご苦労様です。安全活動をお祈りしております。(60代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。近所にあると安心感があります。消防士さんたちがいつも訓練をしている姿を見ると、尊敬します。(40代 女性)
- ・ 毎日頑張ってください、ありがとうございます。(20代 女性)
- ・ マンションで火災報知器が誤作動したことが3回ほどありましたが、いつも迅速に駆けつけてくれて、しっかりと調査してくれるので安心してしています。これからも都民の安全を守ってください。よろしく願いいたします。(50代 男性)
- ・ 高齢の母が骨折した際、お世話になりました。街で救急車を見かけると、心の中で「いつもありがとうございます。」とつぶやいております。(50代 女性)
- ・ 大変なお仕事と思いますが、これからも宜しくお願いします。(40代 男性)
- ・ これまで通りで結構だと思うのでこれからも是非頑張ってください。(40代 男性)
- ・ くれぐれもコロナに感染しないように、お気をつけください。常に宇宙服のようなもので感染しないように活動してほしい。(50代 女性)
- ・ 娘が消防車・救急車が大好きで近所の消防署の前を通る時にいつも大喜びで、出勤する車に元気で「がんばってねー。」と声を掛けています。救急車の音を聞かない日は無いくらいしょっちゅう出勤しているのを見ますが、本当に大変&大切なお仕事だなと思います。いつも本当にありがとうございます。(40代 女性)
- ・ これからも頑張ってください。こちらでもできる限りの備え(災害時対策など)はしていくつもりです。(40代 男性)
- ・ 日頃から国民のためにご尽力ありがとうございます。(60代 女性)
- ・ 引き続き頑張ってください。近年の台風被害の影響か、河川の氾濫が特に気になります(50代 男性)
- ・ 特にありません。コロナ禍での活動、頑張ってください(70歳以上 男性)
- ・ 常日頃から皆様のお仕事に対して感謝いたしております。これから私たち自身も火災その他に対してはできるだけ、初期に対応できることは自分の力でしていきたいを考えております。皆様の安全と健康をお祈り申し上げます。(60代 男性)
- ・ かなり前に、新潟でトンネル崩落事故がありました。小さな子供が数日間車内に閉じ込められ、雨水だけを飲んで凌いだと言う事故がありました。救助に動いたのが、東京消防庁レスキュー隊、あの感動は、忘れません。これからも、人命救助、災害援助にと活躍して下さい。(60代 女性)
- ・ 職場隣接の敷地で、火災救助訓練をしている様子が見えます。毎日の訓練大変ですね。頭が下がります。施設勤務ですので消防の方には何かとお世話になっています。いつも丁寧で素早い対応、ありがたく思っています。(50代 女性)
- ・ いつも市民の安全と健康を守っていただきありがとうございます。(40代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。機会があれば微力ながら何かしらの協力もできたらと考えております。今は火元には絶対にならないことを心掛けています。(50代 男性)
- ・ 子供の喘息の発作や食物アレルギーの発作の際に、救急車の方に何度かお世話になりました。

- 本当にありがとうございました。(50代 女性)
- ・ 母の救急搬送で、数度お世話になりました。大変感謝しております。(50代 男性)
 - ・ どうぞ皆様、ご自愛くださいませ。(50代 女性)
 - ・ 日々いつ起こるか知れない大惨事も想定しつつ過ごされて、都民のためにご活躍され本当にご苦労様です。どうぞこれからも宜しく願います。(40代 女性)
 - ・ 毎日大変な仕事で、消防車の出動の音を耳にしますと、我が家も注意して、迷惑を掛けない様に気をつけて過ごします。署員の皆様も、お体大切に。(70歳以上 女性)
 - ・ コロナが大変な中、頑張ってくださいありがとうございます。(30代 女性)
 - ・ 妻が急病の際、救急車のお世話になり大変感謝しております。(60代 男性)
 - ・ 本年は特に新型コロナウイルスへの対応など、御苦労の多い年と存じます。日頃の活動ありがとうございます。(30代 男性)
 - ・ 日々のご活躍に感謝します。(60代 女性)
 - ・ 都民の為に働いていただき有り難く思っています。(50代 女性)
 - ・ 日本は素晴らしい体制で国民を守っていると思います。いろいろご苦労あると思いますが、海外へ日本が、良い見本になれることを期待します。(40代 女性)
 - ・ 東日本の震災など全国的な災害の中でも果敢にかけつけるなど感謝しかありません。(40代 男性)
 - ・ 近くに消防署があり、いつもご苦労様という気持ちでいます。守ってくれてありがとうございます。(40代 女性)
 - ・ 火災の時など、危険を伴うお仕事だと思います。いつも、有難うございます。(50代 女性)
 - ・ コロナに気をつけ、頑張ってください。(50代 女性)
 - ・ いつも私たちのために有難うございます。(20代 女性)
 - ・ これからも頑張ってください。応援してます。(20代 男性)
 - ・ 日ごろの活動ご苦労様です。これからも都民が頼りにできる存在であり続けてください。(60代 男性)
 - ・ 活躍に期待します。頑張ってください。(50代 男性)
 - ・ いつも危険な業務をありがとうございます。(30代 男性)
 - ・ 大変なお仕事だと思います。ご自愛ください。(50代 男性)
 - ・ コロナ渦において消防・救急の皆さんは大変なことと思います。いつもありがとうございます。(40代 女性)
 - ・ 実家が火災のボヤとなり、幸い半焼で済みましたが、少しの油断、ミスで火事になる恐ろしさを痛感しました。消防の皆様の命懸けのご活動には、感謝してもしきれません。(30代 男性)
 - ・ 大変なお仕事ですが、頑張ってください。(40代 女性)
 - ・ 都民のためにご活躍いただき感謝しています。いつもありがとうございます。(20代 男性)
 - ・ 日頃より毎日の消防、防災、救急等の業務にご尽力頂いており本当に感謝しております。消防署のそばを通りますと、訓練に励んでいる姿を目にし、大変でも私たちの生命、財産を守るといった使命が感じられてそのことが日本人の規律の源と、誇りに思えます。なかなか体の具合で協力することが難しいですが、できるだけ応援していきたいと思っています。(60代 男性)
 - ・ 日頃よ地域での消防活動に感謝いたします。今後も各地域での"防ぐ"活動を東京消防庁に期待いたします。(60代 男性)
 - ・ 日々の活動、ありがとうございます。頼りにしています。(30代 男性)

- ・ 特になし。コロナ禍頑張ってください。(40代 男性)
- ・ 大変な仕事だと思いますが、これからも頑張ってください。(40代 男性)
- ・ いつも感謝しています。これからも地域の安全をよろしくお願いします。(30代 男性)
- ・ いつも大変な状況の中で業務に従事して下さって感謝しております。(30代 女性)
- ・ 母の急病の際に、救急車にお世話になりました。心強かったです。ありがたかったです。(50代 男性)
- ・ いつもご尽力くださりありがとうございます。(40代 女性)
- ・ 大変なお仕事だと思います。自分の身に気をつけて頑張ってもらいたいです。(40代 男性)
- ・ 近くに消防署があり緊急出動をよく見かけます。大変なお仕事だと思います。ありがとうございます。(50代 女性)
- ・ いつもありがとうございます。なくてはならない存在です。(50代 男性)
- ・ 普通の人ができない職業訓練をされ、すごいと感心します。(50代 男性)
- ・ いつもありがとうございます。皆さんのおかげで安全に暮らせています。これからもよろしくお願いします。(20代 女性)
- ・ いつも住民への支援をありがとうございます。災害におけるご尽力にひたすら感謝の思いです。(40代 男性)
- ・ 地域を、人を守る活動をしてくださることに感謝です。(30代 女性)
- ・ 子供の怪我と、私の怪我の際に救急車を使用しましたが救急隊員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。これからも、都民のため、大変ですが、頑張ってください。(50代 男性)
- ・ いつも街を守ってくださりありがとうございます。(20代 女性)
- ・ いつもお世話になっております、消防団員の方は小学生の時に社会科見学で、かっこいいお兄さんを見るきっかけがあり、一時期消防団員を目指した時期がありました。このご時世ですし、大変だと思いますが頑張ってください。そして、何かあった時よろしくお願いします。(20代 男性)
- ・ いつも町の安全のために尽くして下さってありがとうございます。(50代 女性)
- ・ いつも都民、区民をの生活を支えていただき、ありがとうございます。(70歳以上 女性)
- ・ 日々の厳しい訓練に耐え、睡眠も犠牲にして都民の安全のために活動して下さっていることに感謝しています。(50代 女性)
- ・ 日頃の活動に感謝してます。大変な時期ではございますが都民の安全のため、ご活躍ください。(50代 女性)
- ・ これからも我々を見守ってください、よろしくお願いします。(60代 男性)
- ・ 最近、近所での火災か病人かわかりませんが、救急車や消防車を見かけることが多い気がします。大変なお仕事だと思っています。これからも大変だとは思いますが、体に気をつけて頑張ってください。(60代 女性)
- ・ 意見や提案ではないのですが、、いつも緊急時の対応・出動ありがとうございます。みなさまのお陰で安心して生活ができております。自分自身、もしもの時のために防災意識をより高めたいと思います。(20代 女性)
- ・ 皆さん命がけで大変だと思いますが頑張ってください。(30代 男性)
- ・ 東京都のように人口が多いと緊急時の交通渋滞等心配ですが、安心して生活できているのは、緊急事態の際に対応していただける機関があって機能していることを感じているからだと思

- ます。いつもありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。(40代 女性)
- ・ いつもありがとうございます。大変なお仕事ですが、よろしく願いします。(50代 女性)
 - ・ 都民のため、精神的、肉体的な負担をおかけしておりますが、いつも感謝しております。ありがとうございます。(70歳以上 男性)
 - ・ 引き続きよろしく願いいたします。(30代 女性)
 - ・ 警察などに比べ消防隊の方はとても親切でいつも、感謝しています。ありがとうございます。(40代 女性)
 - ・ これからも住民の安全を守ってください。(30代 男性)
 - ・ 個人的として一度また実家の母親も複数回救急車のお世話になっており大変感謝いたしております。またこのマンションでも複数回ぼや騒ぎで消防出動がありまして、その際の消防士の皆さんの働きぶりを目の当たりにし感銘を受けました。(50代 男性)
 - ・ 頑張っってらっしゃると思います。アナフィラキシーを起こした時、来ていただきましたが、大変助かりました。(60代 女性)
 - ・ 子供のことで救急車を呼んだ時、夜中でしたがとても丁寧に対応していただき、ありがたかったです。(40代 女性)

■ 広報活動・情報提供などについて

- ・ もし火災が発生した時に、どうすれば火が周りに燃えうつらないのか、消火器が近くになかった場合などの場面ごとの対処法を教えてくださいと嬉しいです。そうすることで、火災が発生しても、すばやく対応することができ、パニックになって、手遅れにならなくて済むと思うからです。(40代 女性)
- ・ 東京消防庁の広報課をラインや Facebook など、ソーシャルメディアにも広げて多くの方々が逃げ方や水を用意すること、防災の初歩など、本編よりもっと基本的に国民一人一人に広げる予防や防災の備えがまだまだあると思います。消防庁の努力の成果を期待します(60代 女性)
- ・ 警視庁の事件発生情報の配信メールのような、災害発生情報を地域指定で配信いただくと、防災意識の向上が期待できると思うので、システム化してほしいと思っています(70歳以上 男性)
- ・ 新聞に折り込みで配布されている広報は必ず見えています。これからも防火・防災の知識を発信してください。(50代 男性)
- ・ 消防というと「火災」を想定しますが、自然災害について、意識の向上に PR などをすすめてください。都市災害を具体的に例示して、都民に予備・意識の向上に、日頃から努めていただきたい。(50代 男性)
- ・ テレビや YouTube 等で、消防資産や救急隊の方々の活動内容や訓練の様子等をもっと知りたい。消防を他人事と思わないように、たくさんの人たちがイベントや講習等に参加していければよいと思う。(60代 女性)
- ・ もっと活躍ぶりをアピールしたほうがよい。(50代 女性)
- ・ 警察に関するテレビ番組はあつたりするのに、消防士さんに関するものってほとんど見たことがないような気がします。もっとメディアを上手く活用されてはいかがでしょうか。(40代 女性)
- ・ コロナ対策で東京都も大変だと思いますが、大地震についても、関東大震災から 100 年近く経っていますので、くれぐれも備蓄品や避難所などの整備と、住民・就学若人への情報提供を広

報誌などで実行してください。情報提供が少なすぎです。尚、大地震など大災害の場合は、必ず皇居も市民のために解放して、人々の命を守って下さい。(50代 女性)

- ・サイレンが聞こえ、近所で何かあった時しかお見かけしません。子供たちが幼い時は、地元の小学校の活動で防災訓練に参加しましたが、子供も大学生になり、そういった機会がありません。もう少し身近に感じられれば、防災情報を得る事もでき、意識も高くなるのかなと思います。息子がYouTubeをよく見えています。若い子たちはもうあまりTVをみません。SNSまたはYouTubeです。そういった媒体へ啓蒙的なCMを流してみるのもよいかと思います。(50代 女性)
- ・消防庁の尊いお仕事を、地域住民へ周知していただけたらと思います。(60代 男性)
- ・マスコットキャラクターがあまりかわいくない。ピーポくんのようにかわいいキャラクターかつ現代の流行を取り入れたデザインにすれば、幅広い年代から興味を持ってもらえると思います。現在のキャラクター名はもちろん、キャラクター自体、いままで知りませんでした。(30代 男性)
- ・近年台風や地震による被害が多く、心配に思う事が増えましたが、なかなか対策をどうしたらよいか分かりません。YouTubeやTVなどのメディアコンテンツで情報を発信してもらえるとういことだと思います。(20代 女性)
- ・普段の活動をみんなに知らせてほしい。(50代 女性)
- ・消防の仕事をもっとアピールした方が良い(70歳以上 女性)
- ・都や区の公報を使って、太文字・小文字、図などで、インパクトがある宣伝をしてほしい。
#7119のシールがあれば、どこかに貼れる。(70歳以上 男性)
- ・消防庁の講義を依頼したことがあります。わかりやすく、とてもいいものでした。ネットでやっと探したのですが、もっとアピールし、いろいろな団体が利用できたらいいと思います。
(50代 女性)
- ・通勤時のホームで病気の方が出て、救急講習で学んだ事を実施する機会があったのだが、協力者が少なかったことに落胆した。もっと普及してほしいと感じております。日本は災害が多いわりには、東京に住んでいる人は、他人事、私は高齢者になり、なかなか人助けをやりたくてもできなくなってきてます。1人の力でなく、多くの方々の力がどんなに必要かを考えさせるようにして頂きたい。お願い申し上げます。(60代 女性)
- ・救急相談センターのステッカーを、各家庭に配布して欲しい。(70歳以上 男性)
- ・救命講習の日時の告知方法(知らないまま終わっている場合が多い)。(60代 女性)
- ・若い人はYouTubeを結構見るといいますので、わかりやすい面白い動画を作って、周知させればよろしいかと思います。(あるのかもしれませんが、私は知りませんでした)。(20代 男性)
- ・梅島の日光街道沿いの消防署で、よく訓練しているなあと思っていますが、何かのイベントなどで、もっとデモンストレーションして、子供達にも見せたら良いと思います。(60代 女性)
- ・高層階に住んでいるので、火災の時、どうやって避難するか心配です。ガイドなどがあるとうれしい。(60代 男性)
- ・キュータのキャラを今回初めて知りました。ワタリ119サンにコスプレしてもらい、知名度をあげてみてください。(40代 男性)
- ・#7119は知らない人も多いと思う。緊急の時は余裕がないから、迷うよりは119をかけてしまおうと思う。それに前に「#」がついているので、番号だけ覚えていても面倒だし、誰かに教

えようにも、どう表現したらいいか迷うと思う（シャープ??）。もう少し、誰でもわかるよう、もっと広報に力を入れるべきだと思う。この調査票も、突然届いて、サギじゃないかと、安易に回答していいものかと不安も感じました。（50代 女性）

- ・ 講習会の告知、SNSをもっと活用しては如何でしょうか？（50代 女性）
- ・ 近い将来、大地震が来るといわれています。とにかく火災が怖いです。火災が起きないように、いろいろなことを知りたいです。知識が少しでもあれば、皆で火災を防ぐことが出来ると思います。どうぞ、私たちに教えて下さい。よろしく願いいたします。（50代 女性）
- ・ 個人の備えについて、「何をどのくらい、どこへ」備えれば良いのかを教えていただけると、安心できると思います。（30代 男性）
- ・ 危険物や消防設備士など、資格受講の（資料請求など）やりやすさを改善してほしい。（20代 女性）
- ・ 火災報知器の点検や交換などは、しらなかつたり、忘れがちだつたりするので、TVなどで啓発してほしい。（40代 女性）
- ・ 今、町会長ですが、地域の防災組織をどのように作ればいいのか苦慮しております。平日の日中に災害が発生した時の対応はどうするか、対応している地域の情報を提供願いたい。（60代 男性）
- ・ 防災の訓練が身近で行われていないと思う。やっていたとしても周知徹底されてなく一部の人のしか認知されていない。（40代 男性）
- ・ 緊急時の人工呼吸や AED の講習の"お知らせ"が欲しい。あるのが知っていれば、是非受講したい。（50代 男性）
- ・ 訓練の様子を一般公開してもらえるとよい。（40代 女性）
- ・ 定期的に防災や人命救助などの講習会のお知らせをメールか LINE でいただきたいです。（40代 女性）
- ・ 今以上の大規模地震の際の密集家屋の火災の可能性、危険性の周知。（40代 男性）
- ・ 初期消火の仕方をレクチャーして欲しい。（50代 女性）
- ・ たばこ、調理中などの失火など、周知に際しては既にご尽力いただき但てますが、今後も引き続き都民の方に対して注意喚起のご活動いただきますようよろしく願いいたします。（30代 男性）
- ・ 大規模な火災や、地震、津波などに対して啓蒙活動をしてもらいたい。東京で起こつたら、どうなるか、どう動くべきか。（70歳以上 男性）
- ・ 緊急時の対策冊子とかいただけると助かる。（20代 女性）
- ・ 地域の訓練を無料情報誌などに載せてほしい。（50代 女性）
- ・ 慌ただしく防災意識の回らない生活をしているので、自然災害への備えや火災防止や家庭で注意する点など情報発信をたくさんして下さると大変参考になります。（40代 女性）
- ・ YouTube を使って、個人や地域で出来る防災（火災、地震等）について紹介する動画を作成し、幅広い世代に対して、発信していただければと思います。（50代 男性）
- ・ 主な仕事である消防や救急に関しては特に言う事は無いですが、広報活動はもっと工夫しないと、一般の人に情報は届かないと思います。SNSなどで、時にジョークやタメ口なども織り交ぜて注目を引いて沢山の人に見てもらおう工夫をしないと、広報活動の意味があまりありません。なるべく沢山のの人に伝えたい事を発信するべきで、消防博物館とかポスターなんかよりよっぽどお金をかけずに大勢の人に啓蒙出来ると思います。公務員だと前例になつた事ばかりやりがちですが、柔軟に色々なアプローチを取り入れて下さい。失敗しても倒産することは無

いので、積極的にチャレンジして欲しいです。(30代 男性)

- ・ 定期的な知識を学べる情報発信（メルマガ）や東京都内で、日々どれくらいの火災、救急件数が発生しているかの数値的データを明らかにし注意喚起してほしい(40代 女性)
- ・ #7119は私の周りには承知している人が全くおりませんので、是非啓蒙活動をして頂き、#7119番電話をした方の安心と、救急車の出動回数を減らせる事ができたら双方にとって宜しいのではと思います。(70歳以上 女性)
- ・ 自主防災組織の育成、自分たちの街は自分たちで守るということが今後の同時多発災害に対して有効だと思います。育成促進をお願いいたします。(60代 男性)
- ・ 近年は自然災害が増えているのでその対策や避難についての啓蒙が更に必要なのではないのでしょうか。(50代 男性)
- ・ 大変かもしれませんが、冬場の火災予防で巡回しているのを見ると気をつけようと思うので、そういった活動を続けてほしいです。(30代 男性)
- ・ 家庭内の火災や地震に関して「別に良い」「邪魔だから」「使ってないから壊れてない」など防災意識が低い者への啓蒙・周知がどうにかならぬか考慮して頂ければ幸い。ルールや条例・規制という側面も含め。(30代 男性)
- ・ 色々と情報提供をお願い致します。(40代 男性)

■調査に協力して初めて気づいたこと、改めて感じたこと

- ・ 防火意識や知識を高めなければと思いました。賃貸物件に住んでいるので、火事が起きた時に備えた防火訓練があったらいいなと思いました。(20代 女性)
- ・ この調査票により、自分が特に何もしていないことに改めて気づきました。(40代 女性)
- ・ 初めてアンケートに答え、「#7119」や消防団についてを初めて知った。消防訓練や応急手当は、企業（勤務先）や教習場で教わったり、体験した以外、普通の暮らしではなかなか体験する機会がないように思う。(30代 女性)
- ・ 今回調査対象となって、普段あまり考えていなかった防災や救助活動のことなど、いろいろ知る事ができたとし、意識するよい機会となった。あって当たり前と思われがちで、しかし大事な仕事に敬意を表したい。救命講習、受けに行こうと思います。(50代 女性)
- ・ 今回アンケートで知らなかった事がいくつもある事を学びました。(70歳以上 男性)
- ・ 生後2カ月半の息子がいるので災害時にどのような対応すればよいのか分からないのが不安です。乳児の心肺蘇生法やAEDの使い方など。(30代 女性)
- ・ 大きな災害が近頃相次いでいます。自分でもしっかり身の周りのことに気をつけなければいけないと改めて思いました。(70歳以上 女性)
- ・ 元職場で自衛消防があることを初めて知りました。大会が開催され、意識が高まり、自分の職場に消火活動が率先してできる人達がいるのは安心です。(50代 女性)
- ・ 近くに防災センターがあるので、訪ねて、知識を高めたいと思います。(60代 女性)
- ・ 災害が増えている昨今、加えて今年は新型コロナウイルスの感染拡大で、救助活動においても苦勞があるかと存じます。一都民としては、まず防災意識を高め、また、個人でもできる活動を、もっと積極的に取り組めるよう、努力したいと思います。(40代 男性)
- ・ AEDの使い方、負傷時の手当の仕方、今後学びたい。(40代 女性)
- ・ 東京消防庁に関して何も知らなかったことがよくわかりました。これから勉強させていただきます。ありがとうございました。(70歳以上 女性)
- ・ 時々、地震がありますが、家具の転倒防止をしないとと思いながら日々過ごしています。火災報

知機も設置はしているが、10年で変えないとダメなのだと知らされました。これからは防災訓練に年1回は参加して、学びたいと思います。(60代 女性)

- ・ 機会があれば救急講習に参加してみたいですが、どのように募集しているのかわからない。(60代 女性)
- ・ AEDの使い方は知りたいです。休みの日に近くで講習があれば、参加したいです。(40代 女性)
- ・ 勉強になりました。ありがとうございました。(40代 女性)
- ・ 今回のアンケートにより、防災館等に行き、体験したいです。(70歳以上 女性)
- ・ 消防団というものをこれを機に、存在を知ったけど、何をしているのか、どれくらい活動しているのか…。(20代 女性)
- ・ 実際に災害が起こると、消防関係の方の任務に感謝と敬意をしておりますが、このアンケートで、日常、いかに無関心であるか、気付かされました。家の中の防災をチェックしたいと思います。(70歳以上 女性)
- ・ なかなか積極的に参加はできませんがこれを機会に、地域の防災に関心を持つようにしようと思いました。(50代 女性)
- ・ 地域の消防に関わりたいが中々タイミングが合わない。子供達が手が離れたらもう少し積極的に参加したい。地域の仲間と参加したい。(40代 男性)
- ・ 応急処置の訓練はいつか受けたいと思いつつ、時間が取れないのとコロナで延び延びになっていましたが、このアンケートをきっかけに来年前半にはどこかで受けたいなと思います。(40代 女性)
- ・ 警備をする者として意識は高く持っているつもりでしたが、勤務先の事しか頭になく、自宅の報知器への意識は低かったと今回の調査で実感しました。テレビで消防の特集を組み報知器の点検について周知するのも良いと思いました。(20代 女性)
- ・ AEDの使い方など、とっさの時の救命にかかわる対応はぜひ知っておきたいものの、どこでどのように学べるのかを知る機会がありませんでした。ぜひ、そのような機会を多く設けていただきたいです。(30代 女性)
- ・ AEDなど命を救出できる、するべき状況で助けたい思いはあるが、やり方がわからず、訓練する機会を探せていないのが現状です。訓練が気軽に受けられる環境があれば嬉しいです。(30代 男性)
- ・ アンケートを通して地震対策を見直すきっかけになって良かった。消防といっても救急・防災と命に関わる広い分野であることを改めて感じる事ができた。(40代 女性)
- ・ #7119について、恥ずかしながらこのアンケートで初めて知りました。アンケートが良い機会になりましたが、そういう知るきっかけをより与えてくれると助かります。(30代 男性)
- ・ アンケートを通じて、自分の災害に対する備えの無さを恥ずかしく思った。(50代 男性)
- ・ アンケートを受けて、自分の怠慢を思い知りました。つい最近救急車を呼ぶ機会がありましたが、119通報が適切でない事例だったと後で気付かされたこともあり、知っているようでも身につけていないことが多いと感じました。(40代 女性)
- ・ 人命救助の講習を受けられる場所が分からない。近隣で土日で開催していればぜひ行きたいです。(40代 女性)
- ・ 普段の生活の中では関わりが無いため、東京消防庁の役割についての認識が薄かったのですが、このアンケートによって、私たちが安心して暮らすためには重要な機関であると感じました。(60代 女性)

- ・ あまり火災や災害について自分ごととして考えられていないので、改めて市民一人一人が意識を持ってできることをやるのが大切だと思いました。応急手当てなど勉強しておきます。(30代 女性)
- ・ このアンケートで、具体的な活動を知ることができました。今後も、よろしくお願いします。(50代 女性)
- ・ 今回、色々知らなかったことを知ることができました。防災について、考えてみようと思います。(30代 女性)
- ・ 災害、火事、病気、怪我……。普通の生活であまり考えてなかったのですが、いつ、何か起こるかわかりません。私たちも安全、安心な暮らしを過ごせるよう、家の中でも気をつけたいと思います。(60代 女性)
- ・ 私たち市民が参加できる訓練がたくさんあると存じ上げませんでしたので、これから積極的な参加に努めたいです。(20代 女性)
- ・ 初めて知った事が多々ありました。これから勉強実践して行きたいと思います。(50代 男性)

■救急車の利用について

- ・ 少しの病気でむやみに119番を呼んだらダメだと思っている。(60代 女性)
- ・ 救急車を手配した時、搬送先が決定できなく、時間を要する事が多い。色々大変でしょうが、改善できる事からお願いします。(60代 男性)
- ・ 以前、119番に電話した時、事件ですか？事故ですか？と聞かれたが、腹痛で119番した為、返答にとまどってしまいました。出来れば言い方をもう少し工夫して頂ければと望みます。(60代 女性)
- ・ 何年前前にスタッフがケガをし、出血が多かったため救急119にTelしましたが、受け入れ病院を探すとTel口で20分くらい待たされました。その間に知人にTelをし、受け入れ病院を紹介してもらい、そちらに連れて行きました。救急にならないと思いました。(50代 女性)
- ・ 小学校で勤めています。児童に負荷試験で認められた量のアレルギー（牛乳）を摂って登校する子がおり、朝、喘鳴と呼吸の苦しさが出たため通報しましたが、いらした隊員の方にこの程度で呼ばないよう言われました。お忙しいのかとは思いますが、急変・重症化する可能性の高いものは対応していただければと思います。(30代 女性)
- ・ 15年位前、母が脳梗塞で倒れた時、二階でたまたまコンセントから煙が出ていたので、事情を話した上で119番に連絡したら、何台もの（7～8台）消防車が来てしまい、大変迷惑をしたことがあります。事情の考慮をしていただきたかったです。(70歳以上 男性)
- ・ 私個人としましては、救急車を呼んだ時は料金をお支払いした方が良いと考えております。(60代 女性)
- ・ 夫婦は聴覚障害者で、まわりが何か起こるかわからない。何か（病気持ち）起きた時、救急車を呼べない。代わりに息子、娘、ケアマネージャーにメールしてお願いすることになってます。前ははじめて夫が体が動かないので、私は夫を着替えて玄関で待って、タクシーをよんで病院（東山）へ一緒に行きました。見てもらい、すぐ府中の大きな病院へタクシーで行き、脳いっ血の前でした。すぐ手術して日帰りでした。(70歳以上 女性)
- ・ 一つの事故で何台もの救急車が集まって来て下さるのは無駄かな？と思った事がありました。(70歳以上 女性)
- ・ 命に危険がない方、自力歩行可能者の救急車利用者は通報時に説明し、タクシー等の利用をすすめてはいかがでしょうか？(50代 男性)

- ・ 職場で救急車を依頼した時に大事には至らなかったのですが、もう少し早く来ていただきたい思いました。(50代 女性)
- ・ 119へ電話したことがあります、消防の方が来て対応した際に年齢まで聞く理由は何でしょうか。対面して対応したのに気分を害しました。(50代 女性)
- ・ 隊員の皆様が頑張っていることは承知していますが、病院への搬送時間を更に改善していただきたい。(60代 男性)
- ・ 以前祖母が呼吸がしづらくなり救急車を呼んで来て頂いたことがあります。その時は少し症状が和らいだ様で病院には搬送せず自宅で様子を見るという措置を取ったのですが、その後2時間程経った頃でしょうか？また呼吸が苦しいと言う事で救急車を呼ぶことになりました。その際に119に電話をかけオペレーターの方とお話したのですがまた再度1からの状況説明で少し面倒だなと感じました。また短時間で2度も来ていただくケースも稀だとは思いますが、このような場合現場の救急隊員の方から例えば臨時のお問い合わせ番号の様な物を決めて頂きその番号をオペレーターの方に伝えると先程の状況がすぐにわかりスムーズに進むのでは無いかと思いますがこの様な案はどうでしょうか？現在でも連絡からの救急車到着までは迅速に行われていると思いますがより早く正確に情報共有が出来るとさらに到着までの時間が短縮されるのでは無いかと思います。宜しくお願い致します。(20代 男性)
- ・ 救急車をタクシー代わりに使っている人もいるそうだが、悪質な場合は代金を徴収しても良いと思う。線引きが難しいのなら、すべて徴収しても良いのでは…。(70歳以上 女性)

■その他の要望など

- ・ 夜間、若者がたばこのポイ捨てや、数人で集ってたばこを吸い、そのままにしていることを何度か注意したが、なかなか聞いてくれず、火事や火災防止の巡回をしてほしい。(60代 女)
- ・ 夜中にサイレンを鳴らして住宅街に来られると…近所に知られたくないので、「鳴らさないで」と要求できるのか知りたい。(70歳以上 女性)
- ・ 日本人の伝統なのか、かしこまったイベントが多いように感じます。もっといろいろな施設や町単位の場所へ出向き、おもしろい講習を期待しています。(40代 男性)
- ・ 救命講習や防災に関する啓蒙活動を、さらに増やしていただき、地域の消防署と住民とのかかわりが増すとよいと思います。(50代 女性)
- ・ 私の住宅のある所は道路が狭くて、消防車が入ってこられないかもしれません。119番すると、消防自動車の大型が来ますが、軽自動車の消防自動車があれば、すぐに状況を把握できるのではないのでしょうか？(60代 女性)
- ・ 訓練や講習を義務化してほしい。特に事業所等は、ビルが密集しているところに多いので、義務化することによらないと、都民の意識は向上しないと思う。(60代 女性)
- ・ 応急手当講習がもっと頻繁で、受けやすくなればよいと思いました。(40代 女性)
- ・ 年寄りが多くなりました。団地などは注意を呼びかけをお願いします。(70歳以上 女性)
- ・ マンション内では、一年に一回避難訓練をしていますが、もう少し具体的に消防署の方が加わって、指導を受けると、一人一人の意識が高まると思うのですが。(70歳以上 女性)
- ・ もっともっと身近に関わりがあると良いと思います。私たちの地域、まわりの地域を守ってください。※3.11の時、近隣の学校の門は閉ざされていた時に、老人が多い所は…と考えさせられました。こんな時、どこへ言えば…と不安に(揺れている時には判断できない…と)。(30代 女性)
- ・ 近隣に倒壊しそうな(半分している)古い民家や、木密地区があり、火災・倒壊などの危険を感じ

じています。何か策を打っていただければ幸いです。(50代 女性)

- ・ 消防署の近くなのですが、消防車、救急車の音が大きく、回数が多いので、もう少し小さくできないでしょうか？(70歳以上 男性)
- ・ 家の近くで2回出火したところがありました。アパートだったのですが、出火時間が午前9:30で、皆仕事に出かけていて、自室が空の状態でした。2階建ての上、下4部屋を焼いたのですが、消火が済んだ時に近くの消防隊の方に出火の様子を聞いてもどなたも返事なしでした。詳しい出火原因は言わなくてもよいのですが、出火時と日のまわり方の早さなどは教えてくれてもよかったです。後日消防署の方が近所の様子をみ周りに来て、私の家の中の様子を消防署の立場からひとつひとつよい、よくないの指示をいただき、参考になりました。細かく家ごとに立ち入れないかもしれませんが、直接のご指導は大変よかったです。(70歳以上 女性)
- ・ 身体障害者の方々への配慮を、一層重視してください。よろしくお願いします。(20代 男性)
- ・ 現在昔と違って、家の中にはいろいろなものがあふれています。家電もたくさんあります。いつ火災が起きても不思議ではありません。家の中を整理、掃除して火災をおこさないように団員がいろいろなところで教育していただきたいと思います。(70歳以上 女性)
- ・ 住宅用火災報知機の設置を義務付けられたころのように、戸別訪問をしていただきたいと思います。コロナが終息してからでいいですけど…。(60代 女性)
- ・ 都会のマンションやアパートは、誰が、どんな方が住んでるかわからない恐怖があります。しかし災害はいつどんな形でくるかわからないので、地区ごとのコミュニティー強化など、年に1回は、何か集会的なこと、専門の方の指導が希望です。(60代 女性)
- ・ 防犯カメラ増設、夜間の照明増設→放火対策(70歳以上 男性)
- ・ ボヤでも沢山の消防車が集ってくることがありますが、火事の大小を見極められる方法があると良いと思います。むずかしいのでしょうか。(70歳以上 男性)
- ・ 大地震、大火災に対する確実な対応をお願いします。(70歳以上 男性)
- ・ 地域の防災活動の充実(自主防災隊等)ができれば助かります。(40代 男性)
- ・ #7119の病院紹介は、○個紹介します→全てにTEL(全て1から説明)→全て断られた→時間1h以上→体調が悪い中大変→諦めた→次の日来院→入院。※紹介ではなく、医療と連携し、すぐ対応してほしい。子供のことだったら、上記のような流れの中、パパ・ママはパニックになってしまうのでは…。(50代 女性)
- ・ 私は知的障害(2級)の子を持つ母です。心臓機能障害(3級)と現在コロナで職場を休ませています。私が仕事している間は自宅で留守番させています。災害等があった時は逃げたりする事はできません。こういった時に協力して下さる方がいると心強いです。福祉等と連携して頂けると助かります。(20代 女性)
- ・ もっと人員を増やして、1人1人の職員の方々の負担が少なくなればと思います。(40代 男性)
- ・ 現在は区営住宅に住んでいる(11/1新築)。区の65才以上の老人一人世帯が多いので、防災の話をして欲しい。体に障害のある人も多く済んでいる。消火器(軽量で小さいもの)が欲しい。(60代 女性)
- ・ 先日、渋谷で消防車が10台位出動していたので「何かありましたか」と消防の方に聞いたけど「さあボヤかな」と。もう少しわかりやすく説明してほしい。(70歳以上 男性)
- ・ 火災報知機が作動している建物が近所にあり、誰かが消防署に通報したのでしょうか。何台もの消防車がかけ付けてきました。その後、異常が見られなかったことのアナウンスが、消防隊の方からありました。まわりにある不安がこの時解消されたように思いました。今何が起こっているの

か、これからどうなるのか、不安で見守っている所への“アナウンス”は大切な知る権利にもつながる重要な知らせです。大切な知らせは、アナウンスは、大きく拡声器を使って、今後とも適宜お願いしたいものです。(10代 男性)

- ・ もうすぐ発生する大地震の時に、特に都民の命を守る取組を行っていただきたいです。(60代 男性)
- ・ 以前住んでいた団地敷地内のうちの林の前に、帰宅したら無人の消防車が止まっていて、火災が起きたのか？うちが火事か？と驚いていたところに、消防の方が1人車に戻られました。その方に慌てて「火事ですか？」と聞いたら「いいえ」と一言だけ言って、また現場へ戻られた様子でしたが、そういう時は詳しく言えなくても、「大丈夫ですよ」とか「ご安心下さい」とかも一言つけ加えてほしかったです。(50代 女性)
- ・ 高齢者の災害時の移動や、避難所でのトイレやベットの環境を充実させてほしい。(60代 女性)
- ・ 町を歩いていると、時々（このお家は火事になったら大変）と思われるお宅が、少しですが、あります。消防署の方にも、そういったお家を見つけていただけたらと思います。(60代 女性)
- ・ 以前、他県の消防団に約3年在席していた経験があります。3年間で、火災、山林での行方不明者捜索、河川の氾濫被害等に出動しました。東京に転勤になり、地域のためになればと消防団に入団しました。入団後、操法大会がありましたが、現職がシフト勤務になったため、中々練習に参加できず、ある時、分団長から操法大会練習への参加を促されました。シフト勤務中であり、中々練習には参加できないと入団前に説明はしていたんですが、理解されていない様でした。東京の消防団と他県の消防団では、活動に乖離があり、自分の中で、この組織では災害時には役に立たないと思い、退団しました。この集団に予算を掛けても意味がない様に思います。2005年、他県での川の氾濫時には、自分を含め、多くの重機オペレーターが活動できました。今後も災害時など、必要であれば、資格を活かし、活動したいと思っています。操法大会等の活動には参加出来なくても、災害時派遣要員でも良いので、現消防団とは異なる組織運営設立はないのでしょうか？(50代 男性)
- ・ 中野区は古い区画整理されていない所が多く、火災時に消防車が入らないリスクがあると思います。区画整理を推進する必要があると思います。(60代 女性)
- ・ 職場で毎月避難訓練（火災、地震等）をしていますが、応急救護講習も定期的にやらないと、いざという時に自信を持って対応できないと思います。学童、放課後ひろばも、救命人間コースの対象になると嬉しいです。消防隊員の皆様が到着されるまでの処置が出来るよう、スキルアップしたいと思います。(50代 女性)
- ・ 地域内の公道幅に差があり、狭い所に限って駐車場として自宅と公道にはみ出して止めています。何事もなければそれに越した事はありませんが、救急車・消防車は車体が大きいので、ハンドルを何回か切らないと通れず、難しいです。この位大丈夫という気持ちでしようが、違反です（迷惑しています）。一度視察して頂き、注意勧告してほしいです。※救急車が家の前に止める事ができず、違う公道に止めて来た事があります。(60代 女性)
- ・ 避難訓練は一度もやった事がありません。連絡もありません。私の自宅はゼロメートル地帯です。新中川の堤が決壊したら、何処に避難したら良いのでしょうか？ご指導ください。(70歳以上 男性)
- ・ 救急車や消防がサイレンを鳴らして走行していても、避けない、止まらない車（交差点など）が多いように思います。人間も横断歩道を我先にと渡っていて、腹立たしく感じることがあります。小さい頃からの教育（何よりも親からの教育）が大事であると思います。すでに行われてい

るのかも知れませんが、TVCM、TV番組などにおいて、広く周知させる方法はないのかと思います。23区内において、高齢者中心の町会等ではなく、多くの住民が参加するような、避難訓練、救急講習などがあると良いなと思います。(60代 女性)

- ・ 救急車や消防車の車体幅をもう少し細くしてほしい(車のとなりを通る時、たまにぶつかりそうで怖い)。極力、裏道は通らないでほしい(すれちがいに怖い時に怖い)。(20代 男性)
- ・ 保育園に勤務しています。保育園に来ていただいたり、消防署に行ってお話していただきたいです(子どもたちに)。(40代 女性)
- ・ 制度としては未来もこれからの世の中に合わせて変革して、よりよいものにして欲しいです。(60代 女性)
- ・ 走行中、車中にいる方などに、遠くからでも聞こえる様に。拡声していても早口だと、全く何をいっているか判らないです。(40代 女性)
- ・ 自宅に寝たきりの高齢者が居ります。居住は2階なので、地震や火災の時に運び出す術を教えて欲しい。有料でも良いので、講習やグッズなどあれば揃えたい。(40代 女性)
- ・ 更なる地域との関わりをお願い致します。(60代 女性)
- ・ 防災の学習や体験の場は、大人はもちろんですが、子供も気軽なゲーム感覚のイベントなどがあると良い。小さいうちから繰り返し参加することで、積極的な行動や、協力する意識が身に付くのではないのでしょうか。いかに繰り返し体験するかが、大事なことと思います。隊員さんの苦勞話や工夫していることなどのお話も、興味深いと思います。(70歳以上 女性)
- ・ 温暖化に伴って、自然災害の多発が予想されます。又、感染症など未知の疫病も考えられ、今後、消防関係の一層の充実をお願いします。(40代 男性)
- ・ 人材を集めるため、パレード、ポスター、動画、SNSの活用(東京消防庁を海外にもアピール)。軽トラの消防車、バイク隊など(細い道に対応。山内、離島など)。ロボット、AIの活用。ケーブル、MXテレビの活用。署長様など、地元の集会に参加してほしい。各自治体の広報と広報課のつながり強化と、イベントに各自治体の長を呼び、又は東京消防庁の職員の方に参加していただきたい(予算、人材のため)。コロナの対応、ありがとうございます。(60代 男性)
- ・ 以前、救急車が一方通行路真ん中に止まり、通行の妨げになっていた。隣に広い駐車場があり、ちょっと横によけてくれればと思った。いくら救急でも、少しの配慮がほしかった。一方通行では戻ることもできない。少し寄ってほしいと頼んだら、待っていると云われた。みんなそんな行動しているのでしょうか。(50代 女性)
- ・ 自分もいろいろ学びたいのですが、なかなか時間が取れず、できません。職場とかで講習してほしいと思います。(50代 女性)
- ・ 消防団をきちんと指導してください。特に、つどいの森公園を倉庫にしている方々。(50代 女性)
- ・ 救急車や消防車などの車両は、小型化するのは難しいのでしょうか。(30代 男性)
- ・ #7119に自分で電話をして助けを求めたことがあります。はげしい頭痛の中、懸命に話したのですが「何ってんのかわかんねー」とおじさんの声で吐きすてられ、私は電話をあきらめました。イタズラと思われたのかは分かりません。このことがトラウマで二度と救命センターを信じない、電話はしないと決めました。当時、このことを公に相談するところが分からず、周りに話すにとどめました。テキトーな人が働いているのか、そもそも質が悪いのか、救われる者が救われない。119の負担を減らすための#7119なのに意味がないと思います。(40代 女性)
- ・ 1人暮らしの老人で、身体が思うように動かないので、大きな地震や近所での火災や台風やゲリラ豪雨の時に、声がけ巡回を、役所の方と相談して行って欲しい。(70歳以上 女性)

- ・ 救命救急、救急車の適切な依頼等の学習の必要性を感じているが、なかなか機会に出会えない参加できる機会を増やしてほしい。(60代 女性)
- ・ 以前消防庁のイベントで子供と一緒にはしご車に乗せて頂く機会があり、非常に貴重な体験となりました。コロナが収束しましたら是非開催していただきたいと思います。(40代 男性)
- ・ 消防庁の仕事は、多岐にわたり重要な仕事。私たちも協力出来るように、地域住民の防災知識、意識の向上、協力意識の向上のための教育活動に期待します。(60代 女性)
- ・ 避難所をよりわかりやすく 23区全体で区分してほしい。台風の時どこに避難すればよいか判断できなかった。(30代 女性)
- ・ 自動車教習所などで、緊急走行車両がきた場合の対応実地訓練などがあれば、迅速に行動できるのではないかと考えることがあります。不要不急の119番通報や誤報などについては罰則などを適用する案が出された場合賛成いたします。(40代 男性)
- ・ 臨港消防署を見学できるようにお願いします。(70歳以上 男性)
- ・ 一般救命講習等の遠隔開催 (60代 男性)
- ・ 周りが狭い道なので、小さい救急車や消防車があれば良い。(50代 男性)
- ・ 災害に強い街づくりをお願いいたします。地元の消防団には以前から興味があり資格(条件)があれば参加したいと考えています。(50代 男性)
- ・ 日常の地道な業務を確実に進めてください。(50代 女性)
- ・ 消防署や設備機材の更新と職員の待遇改善に力を入れて欲しいです。(40代 男性)
- ・ 消防署が近いため、深夜でもよく救急車のサイレンと消防署の方の声で、睡眠しているが起きてしまうことがあります。かなりアナウンスやサイレンの音が大きく感じます。引っ越しも考える程度です。仕方のないことかもしれませんが、どうにかならないでしょうか?(40代 女性)
- ・ 講習活動など、コロナが終息したら、ぜひ頻繁に実施してほしいです。参加したことはありますが、やはり忘れてしまいますので。(50代 男性)
- ・ 今は、難しいですが、これから防災、消防、救助の訓練を増やして欲しいと思います。(50代 女性)
- ・ 地域の消防署の活動など地域とより密接に親しみがわくようになることを望みます。消防士と会話する機会があれば、より地域住民の防災に関心が持てると思います。 コロナ禍が収まれば 盆踊りなどの行事は絶好のふれあいの場です。とくに小学生と。(70歳以上 女性)
- ・ まずは こんな時にも救急・災害対応をしていただいております。感謝いたします。提案としては、火災時 過剰に消防車が集まりすぎるので改善してほしいということです。交通的にも迷惑ですし古いディーゼル車が多いため排ガスの匂いがひどい。あと他の地域に火災があったら即応できないと思います。(60代 男性)
- ・ 消防にラッパ隊は必要なのか?戸建て警報器はお風呂の蒸気で簡単になってしまうので止めている家も多いと思う。そこを改善しない限り普及はしない。(30代 女性)
- ・ 災害訓練、救護訓練ができるイベントをたくさん行っていただきたい。(30代 男性)
- ・ 救命救急士がもう少し自律的に動けるように、さらに質の高い訓練と教育を行って欲しい。また現在東京にはドクターヘリが飛んでいないが近く計画して運用が開始されますが、大規模災害時には都内の救急医療は道路が寸断され十分に行われない可能性が大きく、ドクターヘリが立川に駐機では都内の運用が不十分であり、役に立たない可能性が大きい。東京消防もロンドンのような小型ヘリの運用を考えて欲しい。都内のビルにはヘリポートもあり、災害時には道路封鎖をするので小型ヘリなら着陸は可能です。認定NPO法人 救急ヘリ病院ネットワーク(HEM-Net)の理事をしています。現在の都庁の福祉保健局、救急医療課は大規模災害のシミュレーションも十

分とは言えず、当事者意識に極めて乏しい。やはり災害時はメディカルコントロール下ではない自律的運用が DMAT 以外の消防隊員にも求められると考えています。(60 代 男性)

- ・ 消防庁が、AED を色々な所に設置して欲しい。民間や公官庁任せだと、ある所とない所の差が激しいので。(50 代 男性)

■調査内容、方法に関する意見

- ・ インターネットでの回答を進めていましたが、動作が悪く（次へボタンを押下しても、次画面が表示されない）、紙での回答となりました。(50 代 男性)
- ・ 防災について考える機会をいただき、ありがとうございました。(30 代 女性)
- ・ 本調査が行われていることを知らず、怪しい書類と思いました。無記名、住所などの個人情報が不安のため、回答致します。(30 代 女性)
- ・ 提出期限前にこの様な手紙が来た事は不愉快です。(70 歳以上 男性)
- ・ Q13 で、消防団の人は回答がどれも当てはまりません。(50 代 男性)
- ・ アンケートの強制は止めて欲しい。最後の質問と思いきや一問どころでは無いのなら最後の一問と言う表記は違う。(30 代 女性)

■その他

- ・ 寒くなり、火災が増えてきたように感じます。家と家が近いので、火災になった時の延焼が心配です。(50 代 女性)
- ・ 今までの人生で「119」の救急車は呼んだり、お世話になった事があるが、消防については、今まで関わった事が無い。(60 代 男性)
- ・ テレビで一戸建てが全焼し、命まで取られているニュースをよく見かけます。その引火原因、対策を知らないのでもっとマンションに住んでいます。一戸建てを買いたくても不安があります。(40 代 女性)
- ・ スプリンクラーが汚れていて拭きたいが、鳴ったり水が出たりすると怖いので触れていないが、そろそろ交換したいが、どこに連絡したらよいのかわからない。下記のアプリで検索したがゼロであった。(60 代 女性)
- ・ 66 才 1 人暮らしです。アパートの 2 階です。火事など、周囲から火災があった時、外階段 1 つなどで、逃げる事ができません。窓から飛び降りるしかないといつもいつも心配してる自分です。どうしたらよいのでしょうか？(60 代 女性)
- ・ 今年子供が生まれたばかりで、乳児を連れての防災に関して不安があります。(20 代 女性)
- ・ 災害時の避難所、場所（公園等）に対する対応を考えていますか？出動する場合の道路の確保・規制（特に自家用車による道路封鎖等）大きな避難場所における大量の死者発生を見ている等の心配であればよいのですが。(70 歳以上 男性)
- ・ 私はマンションの管理理事をしております。古いマンション（築 30 年）なので、消防署又は、専門業者による点検で毎年莫大な費用で設備を更新しています。維持管理はかなり大変です。非常灯、消火器等は新調していますが、水道のポンプ更新までは手が回りません。消防署の言うことを 100%聞いていると、マンションの管理費(月 15000 円)を値上げするしかありません。難しい問題です。(70 歳以上 女性)
- ・ 烏山の子供祭りは参加しやすかった。(10 代 女性)
- ・ 出かけるので自宅からバス停に向かって歩いていた時、ご近所の家から煙が出て、火災報知機が鳴っていたので、119 に通報。駆けつけた消防隊員が私の両腕をつかみ、第一発見者が放火犯み

たいに扱われ、次に警察官も同様に腕をつかみ、119番通報した状況を話すと、通報ありがとうとも言わず、解き放した。第一発見者としての通報は今後しない。(60代 女性)

- ・ 仕事柄(研究開発)火事を含めて、災害がないようにつとめてきましたが、一度小規模の火事を会社で出しました(装置のインターロックですぐ水素が止まり、すぐ消えましたが)。その時、冷静に状況説明をすることができないんだと実感しました。火事を起こした方は冷静な対応ができないので、聞く側の冷静さが必要なんだろうと思います。(50代 女性)
- ・ 現在85歳、マンション住まいです。防災についてはかなり整備されています。消防署との関係も、化学会社勤務でしたので、かなり熟知していました。この様な回答になり、申し訳なく思います。悪しからず。(70歳以上 男性)
- ・ 身体の事で救急車を呼んだのに、消防車がいっしょに来ることがある。なぜだろう?と思うことがある。(70歳以上 女性)
- ・ 最新型の車両を実際に見てみたい。(60代 男性)
- ・ 山の火災が心配です。(70歳以上 女性)
- ・ くりかえしがないと、せっかく学んでも忘れてしまうので、マンションの避難訓練を毎年やるのは大切だと思う。いつも来ていただき、ありがとうございます。(60代 女性)
- ・ 亡くなった義父が消防の職員でした。身近に感じていました。(60代 男性)
- ・ 高齢者の運転、事故を無くしたいです。コロナ禍で家での飲酒飲食増えているが、コロナ収束後の火などの消し忘れが気がかりです。(70歳以上 女性)
- ・ 以前うちのマンションで消防士の方が来て住民に講習をしてくれた。大変好評で特に女性たちは消防士が素敵だと大騒ぎだった。講習内容もよかったし、こういうのは消防士に対する敬意を醸成して有意義だと思いました。(70歳以上 男性)
- ・ 直下型大地震 直後は消防、救急は機能しません。(60代 男性)
- ・ 近所は空き地が多いのでどうしても不審火等起きないか不安になります。以前もちょっとしたボヤ騒ぎが有りましたが、消防車が何台も駆り出されて大騒ぎになりました。夜がやはり気持ち悪いと言うところでしょうか。(40代 女性)
- ・ 予防課の対応が非常に横柄な消防署がある。(50代 男性)
- ・ マンションに暮らしていますが、高齢化がすごい勢いで進んでいます。急病になったときの安否確認が課題となっておりますが、プライバシーの問題が壁になっています。なにか対策などはあるのでしょうか。(40代 男性)